

# 鴻巣市議会 会派 自民党

## こうのす自民ニュース

発行日：令和2年1月20日 8号

令和元年10月の台風19号により、被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。

存事業補助金をいただいています。

★指定管理者の指定については、花久の里、鴻巣駅東口第1駐車場(エルミ立体駐車場)、放課後児童クラブ8施設の指定管理者が新たに指定されました。



★中学校給食センター建設に関して、最大4,000食まで提供可能な施設建設にあたり、工事請負契約の締結、および厨房機器の取得を審査、可決しました。完成は令和3年1月の予定です。

そのような中で、市長から現在行田・北本・鴻巣の3市で進めてきた新ごみ処理施設建設プロジェクトが正副管理者会議で解散することになったとの報告がありました。今後はこれまでの積み重ねを生かせる方向で改めてごみ処理施設建設を検討していきたいとことです。鴻巣市にとって大きな問題でもあることから、私たちこうのす自民としてもしっかり議論を重ねて事業の完成を目指したいと思います。

### 鴻巣市議会12月定例会報告！

12月議会では、特に昨年10月に発生した台風19号被害に係る補正予算や一般質問が多く扱われました。

★台風関連の補正予算としては、床下浸水の消毒のための補助金や土のう作成・運搬委託、グラウンド整地業務委託、防災倉庫のアルファ化米や毛布の補充、被害があった公共施設の復旧修繕、農業地域における道路等の稲わら処分費、馬室埴輪窯跡施設災害復旧修繕等で、合わせて1億63万8千円の補正額が組まれました。この財源は財政調整基金から1億円が繰入され、県からも文化財保



さかもと くにひろ  
**坂本 国広**

### 公民館の今後のあり方！

公民館は社会教育施設として、住民に多くの学習機会を与えてきました。本年2月北新宿生涯学習センター開館に伴い、鴻巣市内8つある中学校区全部に公民館が設置されることとなりました。そこで公民館が、まちづくり、福祉、子育て、防災などの課題を解決していく拠点として、地域をつなげていくコーディネーターの役割を担うことについて質問しました。公民館が地域の中心的な役割を担う重要な施設であることは認識しつつ、その運営については他市の状況を踏まえ幅広く検討していくとのことでした。

昨年の台風19号での災害対応について、様々な課題が浮かび上がりました。そこで、公民館主導で、地域ごとにハザードマップに関連した学習するとともに、荒川の氾濫を想定した共助のあり方を、自治会・町内会、民生委員、消防団等と協働で検討出来ないか質問しました。出前講座の防災セミナーを風水害にも対応した内容として開催する予定とのことでした。



とんしょ すみえ  
**頓所 澄江**

### タイムラインで防災・減災！

市民の皆様や自治会・消防団等から台風19号における貴重なご意見や情報をいただく中で、様々な課題や問題点が浮き彫りになりました。こうのす自民は早急に会議を開き、これらをまとめました。そして各会派からの情報をとりまとめた180項目に及ぶ内容を執行部に提出しました。それらを検証し、防災・減災に役立てていただきたいと思います。

地球温暖化の影響で今回のような大雨が、毎年発生すると予測されています。迅速かつ円滑な対応ができるようタイムラインや鴻巣市地域防災計画を見直し、災害に強いまちをつくらなければなりません。タイムラインとは、台風発生時に時系列の防災行動計画といい、先を見越した早め早めの行動で、被害を最小限度に抑え、尊い命をも守ります。

また、住民一人一人の防災計画マイ・タイムラインがあり、小中学校の授業で作成したり、講座の開催、HPで掲載している市町村もあります。「自分の命は自分で守る」ためにもマイ・タイムラインに取組み、防災・減災に努めます。



しばさき かずよし  
**芝寄 和好**

### 災害時の情報伝達・周知について！

昨年の台風15・19号ではかつてない規模の台風を経験し、今後の鴻巣市としての課題もたくさん出てきました。その中でも避難勧告を含めた、市民への情報伝達・周知の在り方を、今一度見直す必要があると考えます。情報周知にはネットやSNSは非常に大事なツールではありますが、高齢者にはなかなか受け入れられません。本市のホームページもアクセスが集中し閲覧出来ない時間帯もあり、またSNSは確証のない情報が流れる危険もあり、誤情報による二次災害も想定されます。数ある情報伝達の方法で、私はラジオでの情報周知が大変有効と考えます。本市には地元FM局があり、昨年の19号の時は16時間連続の生放送で、市内の避難情報・被害状況をリアルタイムに放送をしました。ラジオは子どもから高齢者まで、簡単に確実・性格な情報が得られます。災害時の情報周知の方法・対策として「地元FM局との連携の強化」を今後提案していきます。

- その他の一般質問
- ・放課後児童クラブについて
  - ・乗合型デマンド交通について



のもと けいじ  
**野本 恵司**

### 会派こうのす自民について！

平成31年4月の統一地方選挙後、5名で活動していましたが、12月議会から4名での活動となりました。

議員は立場や考え方、支持者の意向などによりそれぞれの政策を持っていますが、会派として1つの答えを持たなければなりません。12月議会を迎えるにあたり、メンバーによる政策協議を何度も重ねてまいりましたが、1つの結論に一致することが困難で、結節点が見いだせなかったことから、やむを得ず一致する4名で会派を存続・構成することといたしました。

15年間の合併特例事業が令和2年度で終わることから、それ以降の財源確保は非常に重要な課題です。さらに、今後、他市と広域で行っていくごみ処理施設建設や公共施設の維持、再編、また、少子化と高齢化により、社会保障費の拡大等、市の財政運営は待ったなしで進めなければならず、しかもますます厳しくなっています。私たちこうのす自民は、自民党議員団による国・県との連携を活かし、鴻巣にメリットをもたらす活動をこれからも弛みなく行ってまいります。まだまだ難しい課題に直面してはいるかもしれませんが、みなさまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

自由民主党総務部会長 衆議院議員 2020年1月号

# 中根かずゆきNEWS



皆様、あけましておめでとうございます。地元の衆議院議員、中根かずゆきです。令和になって初めてのお正月、皆様いかが過ごされましたか？私は、ひさしぶりに子どもたちとゆっくり話す時間をとれたことが嬉しかったのですが、同時にまもなく始まる国会の準備もあり、なかなかハードなお正月でした。果たして、2020年はどんな年になるのでしょうか。最大のイベントはやはり東京オリンピック・パラリンピックですね。世界一の選手たちの戦いからどんなドラマが生まれるのか、本当に楽しみです。

昨年を振り返ると、本当に災害の多い年でした。被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。災害から皆様の命を守ることは、本来、政治の仕事です。特に堤防やダム、道路といった大規模なものほど、長い目で見て、政治の決断によって整備していかなければいけません。

私は2018年の9月に内閣府副大臣に任命され「災害からどうやって命と生活を守るのか」を考え続けてきました。日本中を視察しながら、古くなった道路や橋、整備の追いついていない河川などを見つけ、地元の方の不安の声もたくさん聞きました。そうして、「これは今すぐにも対応しないとイケない」と始めたのが「**防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策**」です。これは、**2019年から3年間の間に7兆円**という大きな予算を一気に投じて、災害に弱い部分を集中的に手直しする取り組みです。実は、昨年の台風19号で越水被害を出した元荒川をはじめ、地元埼玉六区を流れる各河川も、この事業の対象としていました。きちんと予算を組んで、やっと工事が動き始めた矢先の台風被害でした。工事は時間がかかるものとはいえ、台風に間に合わなかったことは本当に悔しい思いでいっぱいです。今は、台風被害からの復旧作業を進めつつ、また次に来るかもしれない災害に備えて、樹木の伐採・土砂の撤去といった対策を進めています。

また、今年、自民党の総務部会長として「**緊急浚渫(しゅんせつ)推進事業**」の創設にも力を尽くしました。浚渫とは、川底の砂を取り出すことで川を深くし、水害が起きにくくすることです。こういった取り組みの多くは各自治体の仕事なのですが、自治体の財政も厳しい現状では、十分に対応できていないケースが多々あります。そこで、自治体の要望に応じて国からお金を補助し、きちんと自治体で川の管理をしてもらう、それがこの事業のねらいです。今年は約900億円の予算がつきました。皆様の近くの川や、用水路などにも適用され、少しでも災害のリスクが下がることを期待してやみません。こういった取り組み一つ一つは地味かもしれませんが、日々のきめ細かな対策こそが、皆様の命を守るものと信じ、これからも取り組みを進めていきます。最後になりますが、本年が皆様にとって素晴らしい一年になるようお祈りするとともに、皆様の暮らしが少しでも豊かになるようにこれからも努力して参ります。今後とも、ご指導とご支援のほど、よろしくお願いいたします。



1月1日 鴻神社「歳旦祭」に出席させていただきました。



自由民主党総務部会長 衆議院議員 中根かずゆき

## 埼玉県議会自由民主党議員団

# なかやしき慎一



皆様には健やかに新年をお迎えになられました事と心よりお慶び申し上げます。さて、市内を吹上荊原地域～鴻巣常光地域まで流れる「元荒川」。県管理河川の安心・安全を高め、治水を進めていくことも大きな課題です。



- ①堤防嵩上げ 5.8km区間
  - ・工事箇所、高さ、構造を検討中
  - ・令和2年6月までに工事を実施
- ②土砂撤去 1.4km区間
  - ・安養寺堰～郷地橋
  - ・令和2年6月までに工事を実施
- ③樹木伐採 6.9km区間
  - ・鴻巣市内全線
  - ・令和2年6月までに工事を実施

## チャレンジ通信



# 元荒川 堤防嵩上・樹木伐採



昨年秋の台風19号の影響により、複数個所で溢水による被害が生じた「元荒川」ですが、今までも地域の声にお応えして、上の写真のように堤防が低く溢水歴のある箇所について、予算執行の工夫により順次嵩上げを実施して来ました。また、下の写真のように、現在、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」予算の活用による、樹木伐採・土砂撤去を実施中です。そして、12月議会で可決された台風19号に係る補正予算では、三谷橋から四郎兵衛橋までの5.8km区間について、堤防が前後区間と比べて低い箇所を中心に嵩上げを進める予定です。現在、その具体的な対策箇所や高さ、工法について精査・検討中であり、次の出水期(概ね田植え前)までに工事を実施してまいります。